

平成24年度 新発田市遺跡出土品展

発掘からみる新発田城

平成25年2月16日[土]～2月24日[日]／新発田市立図書館 坪川記念室

主催：新発田市教育委員会

ごあいさつ

新発田市のシンボルといえる新発田城は、江戸時代に新発田藩溝口家の居城として築されました。以後、270年以上にわたり、政治の中心として、その役割を担ってきました。

市教育委員会では、昭和60年から、陸上自衛隊新発田駐屯地の整備事業などに関連して20か所以上で発掘調査を行ってきました。その結果、江戸時代の新発田城の姿が、徐々に明らかになってきています。今回の展示では、これまでの調査成果について、写真と出土品で紹介いたします。限られた内容ではありますが、ゆっりりとご覧いただき、江戸時代の新発田の人々の足跡に思いをはせていただければ幸いです。

最後になりましたが、本展の開催にあたりご協力いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。



二ノ丸 外堀と重臣屋敷地の調査（第21地点）

新発田城

新発田城は、市街地のほぼ中央に位置しています。新発田藩の初代藩主 溝口秀勝公の入封にともなって、慶長7(1602)年から築城が開始され、承応3(1654)年、三代 宣直公のときに完成したと伝えられています。もともとは、戦国時代の勇将 新発田重家の居城があった地で、その跡地を取り入れる形で城が造られました。

城の構えは、不整な五角形の本丸のまわりを二ノ丸が取り囲み、その南に三ノ丸が突き出した、南北に長い瓢箪形をした平城です。外堀は、加治川の支流の一つ新発田川の水を引き込んで造られました。明治4(1871)年の廃藩置県により新発田藩が廃止となるまで、藩の政治的・軍事的中心地としての役割を果たしてきました。

本丸

- 【調査地点】
- ・三階櫓跡（第15地点）：調査面積 79㎡
 - ・表門（第5地点）：調査面積 18㎡
 - ・裏門（第16地点）：調査面積 407㎡
 - ・内堀と土塁（第7地点）：調査面積 70.9㎡
 - ・御殿敷地（第17地点）：調査面積 36㎡
 - ・辰巳櫓跡（第14地点）：調査面積 93㎡
 - ・表門（第6地点）：調査面積 20㎡
 - ・本丸石垣（第13地点）：調査面積 57.6㎡
 - ・御殿敷地（第4地点）：調査面積 62㎡

■ 本丸は、城の中心となる区画です。藩主の屋敷(御殿)や三階櫓などが建てられていました。同地内では、これまでに9か所で発掘調査を行っています。表門や御殿の敷地内での調査は、面積も狭く、後世に土地が改変されていたこともあって、江戸時代の遺構はほとんど見つかっていません。しかし、三階櫓跡では櫓台の石垣、辰巳櫓跡では櫓の基礎、裏門の調査では石垣を発見しました。また、本丸の石垣調査では、石垣の基礎や修復跡を確認することができました。



三階櫓跡 調査区全景（第15地点）



三階櫓跡 櫓台の石垣（第15地点）



辰巳櫓跡 調査区全景（第14地点）



辰巳櫓跡 出入口部の踏み石（第14地点）



裏門 調査区全景（第16地点）



本丸の石垣 補修跡（三階櫓と隅櫓の間）

二ノ丸

【調査地点】	・古丸屋敷地（第11地点）：調査面積 609㎡	・古丸屋敷地（第22地点）：調査面積 213.8㎡
	・上米蔵屋敷地(第3地点)：調査面積 1260㎡	・御蔵屋敷地（第10地点）：調査面積 95.68㎡
	・重臣屋敷地（第18地点）：調査面積 394㎡	・池（第12地点）：調査面積 1037㎡
	・二ノ丸区画堀(第8地点)：調査面積 1705㎡	・二ノ丸区画堀(第9地点)：調査面積 240㎡
	・外堀（第2地点）：調査面積 54㎡	・外堀（第19地点）：調査面積 138㎡
	・外堀（第21地点）：調査面積 1121㎡	・外堀（第23地点）：調査面積 17㎡

■ 幕末期の絵図では、二ノ丸は北半分が藩の施設、南半分が藩の重臣たちの屋敷地でした。同地内では、これまでに12か所で発掘調査を行っています。堀の調査では、斜面の崩れを防ぐための土留めや護岸施設を発見しました。藩の施設があった上米蔵や御蔵屋敷地の調査では、掘立柱や礎石の建物跡が見つっています。しかし、重臣の屋敷地では、まだ建物跡が確認できていません。今後の調査に期待したいところです。



古丸屋敷地 掘立柱建物（第22地点）



御蔵屋敷地 掘立柱建物（第10地点）



二ノ丸の区画堀 瓦の出土状況（第8地点）



二ノ丸の区画堀 土留め施設（第8地点）



池 全景（第12地点）



外堀 護岸施設（第19地点）

土 橋

【調査地点】・土橋西側面（平成15年） ・土橋東側面（平成24年）

■ 平成15年に、城址公園の整備関連工事の最中に、石垣が発見されました。土橋門の前、堀を渡る「土橋」の石垣です。西の側面にあたります。そして平成24年、旧県立病院の解体工事の最中にも、石垣がみつかりました。今度は「土橋」の東の側面にあたります。石材は、本丸の石垣と同じ古寺石（五十公野山から切り出された粗粒玄武岩^{そりゆうげんぶ}）でした。

土橋の東側面 石垣（平成24年）



おさくじどころ 御作事所

【調査地点】・敷地内（第1地点）：調査面積 1176㎡ ・敷地内（第20地点）：調査面積 72㎡ / 144㎡
・敷地内（第24地点）：調査面積 80㎡

■ 御作事所とは、藩の建築関係の業務を管理・監督する部署の一つです。敷地内では、これまでに3か所で発掘調査を行っています。調査では、掘立柱や礎石の建物跡が見つかりました。敷地の区画に沿うように建てられていたことから、同所の施設の一部と考えられます。



調査風景（第20地点）



調査区全景（第24地点）

平成24年度 新発田市遺跡出土品展

発掘からみる新発田城

編集・発行：新発田市教育委員会
〒959-2323
新潟県新発田市乙次281番地2
TEL:0254-22-9534
発行日：平成25年2月16日